

九十九里の海をまもる会 御中
気候変動を考える東京湾の会 御中
スティールウォッチ 御中

2026年9月18日
日本製鉄株式会社

2026年9月7日付けの「九十九里沖におけるCCSのための試掘作業の停止を求める申し入れおよび公開質問」につきまして以下の通り回答いたします。

(回答)

今回の試掘作業における2件の事故・事案に対し、当社として大変遺憾に思っております。

8月22日の燃料油流出事故については、首都圏CCS(株)より同日に電子メールにて、同社HPに掲載された内容の第一報を受けました。また、8月29日の事案については、8月31日に電子メールにて、同社HPに掲載された内容の第一報を受けました。いずれもその後、今回2件の事故・事案に対して原因を究明し、安全性の確保と再発防止対策について関係機関(経済産業省資源エネルギー庁、独立行政法人エネルギー金属鉱物資源機構、関東東北産業保安監督部、銚子海上保安部)へ報告を行い、確認を得た上で作業を進めることを、首都圏CCS(株)より説明を受けています。

今後、首都圏CCSプロジェクト参画各社の検討において事故を防止していくためには、CO2分離回収、輸送、貯留を担う各事業者が、それぞれの担当事業において責任をもって安全性確保に努め、リスク排除と確実な対策を図ることが重要と考えています。当社の事業・役割の範囲において最大限安全確保に務めていく考えです。

当社は、カーボンニュートラルビジョン2050に向けて、どれか一つの施策だけに絞るのではなく、複線的アプローチが必要だと考えています。CCSだけでなく「大型電炉での高級鋼製造」「水素による還元鉄製造」「高炉水素還元」の3つの革新技術の開発に鋭意取り組んでいます。

以上